

令和7年度 事務事業マネジメントシート

1 事業概要		中事業番号		492								所属コード		223000							
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X 推進	手段	意図（目的）									
大綱（取組）	Ⅲ「学び育む子どもたちの未来」	4.2		3-1							安定的に保育士を確保するため、潜在保育士の掘り起こし等を行うとともに、研修開催等の就労支援をするため、保育士・保育所支援センターを運営する。	保育士の人材確保を推進することで、安定的な保育所運営を確保する。									
施策	1 人と人とがつながり、みんなで子どもたちを育むまち																				
事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境									今後周辺環境（予測）				住民意向分析						
慢性的な保育士不足となっている保育所が多く、保育士を安定的に確保する必要がある。		慢性的な保育士不足となっている保育所が多く、引き続き保育士を安定的に確保する必要がある。									少子化傾向が続く中であっても保育需要は依然として高く、また、令和6年度の保育士配置基準の改正や、令和8年度のこども誰でも通園制度（仮称）の本格実施に向けて、今後も保育士が不足する状況は続くと思料される。				安定的に保育士を確保することにより待機児童が解消され、希望する保育所に入所できる環境が整備されることを望んでいる。						

2 事業進捗等（指標等推移）				まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名		指標名		2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	中間指標	最終指標
対象指標		認可保育所・認可外保育施設数		か所		129		128		128							
活動指標①		相談・情報提供件数		件		500		614		700		700		700			
活動指標②		新規登録者数				50		51		50		50		50			
活動指標③																	
成果指標①		マッチング件数		件		80		77		80		80		80		80	
成果指標②		補助件数				91		104		91		91		91		91	
成果指標③																	
単位コスト（総コストから算出）		マッチング1件あたりのコスト		千円		1,536		2,086		2,026		2,568		2,568		2,568	
単位コスト（所要一般財源から算出）				千円		531		706		677		873		873		873	
事業費				千円		122,039		144,165		174,360		188,949		188,949		188,949	
人件費				千円		11,591		16,481		18,129		16,500		16,500		16,500	
歳出計（総事業費）				千円		133,630		160,646		192,489		205,449		205,449		205,449	
国・県支出金				千円		87,405		106,267		128,175		135,589		135,589		135,589	
市債				千円													
受益者負担金（使用料、負担金等）				千円													
その他				千円													
一般財源等				千円		46,225		54,379		64,314		69,860		69,860		69,860	
歳入計				千円		133,630		160,646		192,489		205,449		205,449		205,449	
				実計区分		評価結果		拡充		継続		継続		継続			

活動指標分析結果		成果指標分析結果		総事業費（事業費・人件費）分析結果	
相談・情報提供件数については、前年の値及び計画値を上回る実績となった。また、新規登録者数も増えた。 今後、令和7年1月に開設した「こおりやま保育の魅力ポータルサイト」による広報強化の効果が期待される。		求職者と求人のマッチングの件数も、前年度の値及び計画値を上回る実績となった。 保育士の確保（離職防止）を図るため、保育士の負担軽減につながる補助事業を計111件実施（交付）した。（内訳：保育補助者雇上げ46件（施設）、保育体制強化（保育支援者の雇上げ）32件（施設）、保育士宿舎借り上げ20件（施設）、保育料の補助13件（人））事業費の増は、保育補助者雇上事業の補助基準額の増額および保育体制強化事業にてスポット支援員が補助対象として追加されたことにより、補助金額が増加したことによるものである。		【事業費】 補助金を交付する施設等が増加したため、事業費が増加した。 【人件費】 補助金を交付する施設等の数が増え、事務量の増加に伴い、人件費が増加した。	

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		3
2 公平性		3
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4

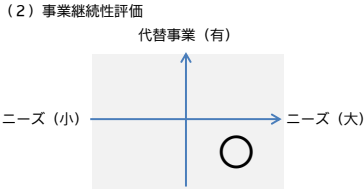
1 規模・方法の妥当性

2 公平性

3 効率性

4 活動指標（活動達成度）

5 成果指標（目的達成度）



継続	一次評価コメント
継続	郡山公共職業安定所管内における保育士の有効求人倍率は、2.67（2025年1月現在）と、依然として求人数が求職者数を大きく上回る状況となっている。 今後も、潜在保育士への啓発、相談受付、復職等に向けた研修会のほか、保育現場における負担の軽減（離職防止）につながる各種補助事業を実施し、保育人材の確保に取り組んでいく必要がある。また、令和5年度から実施している現職向けの「保育の質向上のための研修事業」は、定員を上回る受講申し込みがあり、抽選にて受講者を決定する等、ニーズが高い研修会となっている。本研修会についても、本市の保育現場の課題に即した内容への見直し等も行いながら、さらなる充実を図り、専門性・モチベーションの向上、人材の定着等につなげていきたい。さらに、長期的な視点から、中高生へ保育の仕事の魅力発信について、市内保育士養成校との連携も視野に検討してまいりたい。

5レシ	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）
	○				

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
	○	

4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		3
2 公平性		3
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4

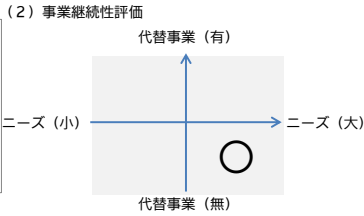
1 規模・方法の妥当性

2 公平性

3 効率性

4 活動指標（活動達成度）

5 成果指標（目的達成度）



継続	二次評価コメント
継続	過去実績と比較し、全ての指標が計画値及び前年度比で増加しており、特に相談・情報提供件数、新規登録者数の増加が顕著であることから、ニーズに沿った事業展開が認められる。単位コストは上昇傾向であるが、概ね補助施設増加に伴う補助金の交付増加及び業務量増加への対応によるものであり、事業としての成果に伴うものとして考えられる。 研修内容の見直しや啓発活動の強化により、保育士の質の向上および人材確保の必要性は増加していくことが見込まれるため、保育士の人材確保における課題解決のための情報収集・分析を行った上で、継続して事業を実施する。 なお、事業の具体的な成果がわかる指標の設定について検討する必要がある。

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画	